

# Strategies for Myelin Repair

## 近藤 洋一 先生

米国ロチェスター大学メディカルセンター  
神経内科学講座 神経科学 再生医学分野



日時

2013年12月19日 (木) 17:00 - 18:30

場所

基礎研究棟 1F 大学院セミナー室

多発性硬化症や白質ジストロフィーなどの脱髄疾患はいずれも難治性であり、治療法の開発が望まれています。本セミナーでは、クラッベ病 (globoid cell leukodystrophy) のモデルマウスの研究を通して、本病で欠損するライソゾーム酵素を補充し、ミエリンを再生する方策を考察いたします。また、近年注目されている、ウイルス性脱髄疾患、進行性多巣性白質脳症の世界初のモデルマウスを用いた医化学的な病態解析を紹介いたします。

大学院生、ARTプログラム科目等履修生のみなさま：本セミナーは院生用講義「研究方法論」の授業とみなすことができます。「研究方法論」を履修中の大学院生で、この特別講義に参加された場合、単位認定の対象となります。出席記録に開催者認印をもらって下さい。

連絡先：松井 秀樹 (細胞生理学分野)

(tel : 235-7105, e-mail : hayase-y@md.okayamau.ac.jp)